

長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
必修	2	6	2	筆記試験
教科書		学習書・副教材等		
数研出版104-902「改訂版 高等学校 公共 これからの社会について考える」		なし		
学習目標				
社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。				
学習内容				
民主主義の基本原則と契約	・民主政治と基本的人権 三権分立と法の支配について			
政治参加と民主政治に課題	・法と契約 経済活動とルール			
経済の仕組みと産業の変化	・選挙の役割 世論の形成と政治参加			
	・経済生活の仕組み 企業の働きと役割 市場経済の仕組みと物価			
授業の進め方、課題・提出物など				
身近な問題から主な国際問題を、社会・経済・政治の各分野から見ていきます。そこでの基礎知識をもとに、それぞれの問題についてどのように考えればよいのかを学習します。				
評価基準と評価方法				
【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。 ①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。 ②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。 ③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。				
【平常点について】				
①出席点 スクーリング出席1時間に付き1点。 ②レポート点 レポート60点以上・出席必要回数が満たされれば20点 レポート平均点×0.3 ③学習状況（主体性の評価） レポートの点数・出席回数・授業態度等で総合的に判断。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論できる。	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度。・人間としての在り方生き方についての自覚や、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚している。		
担当者より				
身近な問題から国際問題まで何でも興味をもって、自ら調べ探究し公共分野の理解を深めていきたいと思います。				

政治・経済

長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	2	6	2	筆記試験
教科書		学習書・副教材等		
実教出版703「最新政治経済」		使用しない		
学 習 目 標				
社会のあり方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。				
学 習 内 容				
現代社会における政治・経済の諸課題 (1)現代日本の政治・経済 (2)現代日本における政治・経済の諸課題の探究 グローバル化する国際社会の諸課題 (1)現代の国際政治・経済 (2)グローバル化する国際社会の諸課題の探究				
授業の進め方、課題・提出物など				
中学校で学んだ基本的な内容をふまえ、現代の政治と経済を学習することによって、社会における諸問題に対応するための見方・考え方が習得できるように授業を展開する。				
評価基準と評価方法				
【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。 ①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。 ②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。 ③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。 ※①及び②のみ満たした場合は履修のみ認定する。				
【平常点について】 スクーリング 1時間出席につき1点加点する。 レポート レポート平均点×0.3 ※小数点以下はすべて四捨五入した後の点数を採用する。 ※合計点が30点を超えた場合は、30点を上限として切り捨てとする。				
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
諸資料から、社会的事象等に関する様々な情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる諸課題を考察し、それらの本質や特質、さらには望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的、多角的に考察している。		情報の収集、処理や発表などに当たっては、学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、コンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用して主体的に情報の収集、処理、発表を行っている。	
担 当 者 よ り				
単なる用語の暗記にとどまらず、社会における諸問題に対応するための見方や考え方を習得するようにしましょう。身近な問題から学習するので、興味をもって学ぶようにしましょう。				

倫理

長尾谷高等学校

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験
選択科目	2	6	2	筆記試験
教科書		学習書・副教材等		
東京書籍701「倫理」		なし		
学 習 目 標				
人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、 広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。				
学 習 内 容				
青年期の課題と自己形成	青年期の意義	青年期の位置づけ		
人間としての自覚	ギリシアの思想	三大宗教		
国際社会に生きる日本人の自覚	仏教と日本人の思想形成	西洋思想と日本人の近代化		
現代の課題	生命・家族・環境など			
授業の進め方、課題・提出物など				
人としての生き方、在り方を探究するため、青年期の意義・世界の思想・現代情勢の把握と思想の構築・個人の尊厳等人間の根源に関わる大切な諸問題を学習していきます。				
評価基準と評価方法				
【単位認定の条件】次の①～③をすべて満たすことを単位認定の条件とする。 ①必要出席時数以上スクーリングに出席すること。 ②すべてのレポートを提出し、すべて60点以上の評価を受けること。 ③平常点及び単位認定試験の結果を総合的に評価し、評点が35点以上であること。 【平常点について】 ①出席点 スクーリング出席1時間に付き1点。 ②レポート点 レポート60点以上・出席必要回数が満たされれば20点 レポート平均点×0.3 ③学習状況(主体性の評価) レポートの点数・出席回数・授業態度等で総合的に評価。				
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く索するための手掛かりとなる概念や理論について理解しており、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめることができる。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。		人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、 他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしており、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵かん養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	
担 当 者 よ り				
深い思想の潮流を学び、自ら調べ探究し「倫理」の理解を深めていきましょう。				